

令和5年7月吉日

大学学長 殿
研究機関所長 殿

公益信託小澤・吉川記念
エレクトロニクス研究助成基金
受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社

令和6年度助成金申請者募集のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当基金の募集にあたり格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当基金は、CQ出版株式会社を委託者として、大学・研究機関に所属しエレクトロニクスおよび情報処理系の研究に携わる若手研究者に対し研究費を助成することを事業内容とし、平成6年に発足いたしました。

本年度も、同封の募集要項に基づき募集を行いますので、募集要項記載の助成対象研究分野に関わる貴学・貴機関の研究組織にご周知いただきますとともに、募集案内ポスターを貴学・貴機関にご掲示いただき、研究者の方々にご案内くださいますようお願い申し上げます。

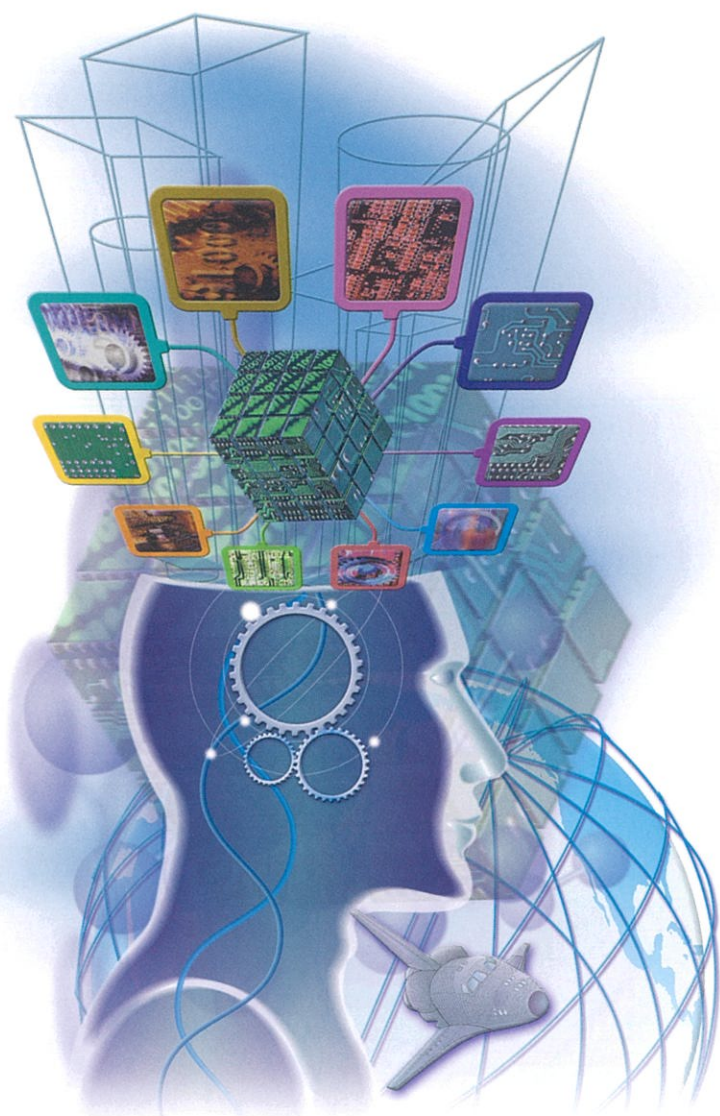
なお、同封書類のうち「申請書」は、募集開始後に、三菱UFJ信託銀行HPの公益信託募集案内（奨学金・研究助成金等）よりダウンロードできます。

https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html

末筆ながら、貴学・貴機関の一層のご発展を祈念申し上げます。

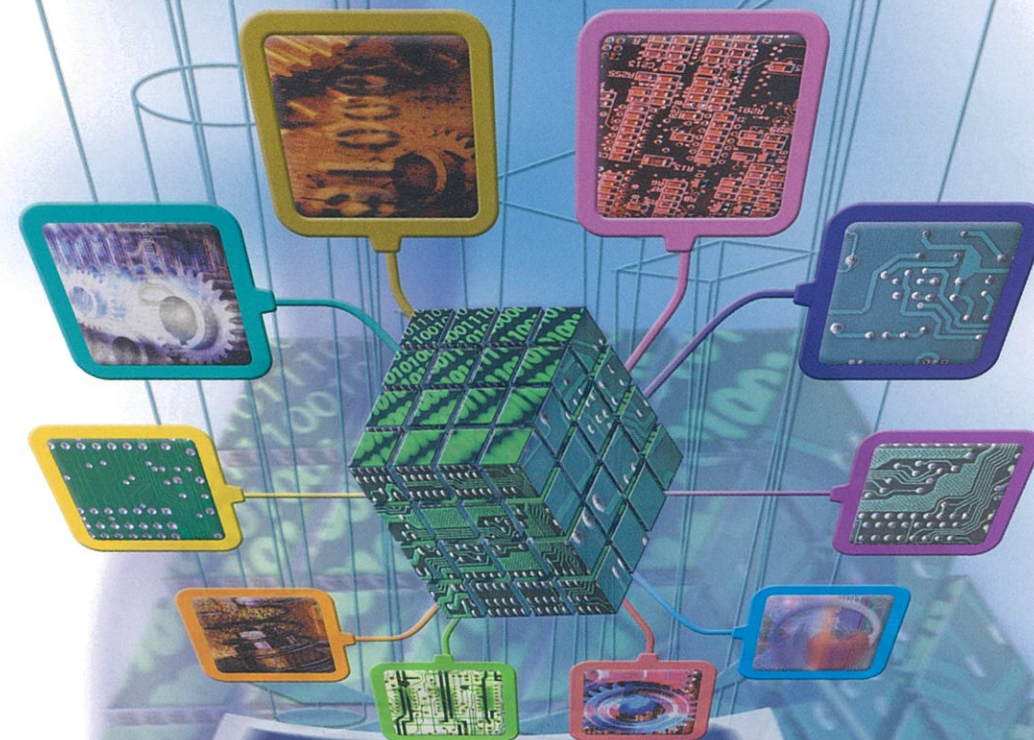
敬具

(裏面)



CQ出版株式会社

公益信託 小澤・吉川記念 エレクトロニクス研究助成基金



令和6年度募集要項

助成金給付の対象となる研究テーマは、以下のような研究項目が含まれます。

- 電子素子の製造基盤技術の研究開発
- 半導体材料および加工技術の研究開発
- 固体電子素子の研究開発
- 電子回路の応用研究
- 光電子素子の研究開発
- 情報処理関連研究
- 生体系、宇宙系、量子系、ロボティクスに対する電子技術の応用研究
(その他のテーマも給付の対象となります)

公益信託委託者

CQ出版株式会社

目的

この公益信託は、信託設定の趣旨に基づいて、大学・研究機関に所属してエレクトロニクスおよび情報処理等の研究に携わっている若手研究者に対し、研究費を助成することによって、我が国の学術研究の発展に寄与することを目的とします。

資格

国立・公立・私立大学、研究機関(民間企業の研究機関を除く)に所属して、エレクトロニクスおよび情報処理等の研究を行う若手研究者(令和6年4月1日現在35歳以下の方)とします。

助成対象研究分野

助成金給付の対象となる研究テーマは、以下のような研究項目が含まれます。

- 電子素子の製造基盤技術の研究開発
- 半導体材料および加工技術の研究開発
- 固体電子素子の研究開発
- 電子回路の応用研究
- 光電子素子の研究開発
- 情報処理関連研究
- 生体系、宇宙系、量子系、ロボティクスに対する電子技術の応用研究

(その他のテーマも給付の対象となります)

助成の概要

◆助成金の額と給付対象者数

- 1件あたり200万円以下で、運営委員会が必要と認められた額
- 3件程度

◆募集方法

電子工学部門を有する大学、研究機関、学会誌等を通じて令和5年9月に公募を開始し、令和5年11月10日(金)に締め切ります(必着)。

◆書類の提出

助成金の給付を希望する方は、所定の申請書に記入し、所属機関長の確認を受けて事務局までお送りください。

※申請書は三菱UFJ信託銀行ホームページの公益信託募集案内(奨学金・研究助成金等)

(https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html)よりダウンロードできます。

◆給付決定と採否通知

運営委員会で審査し、給付対象者および助成金額を決定し、令和6年2月中旬に採否を文書で通知します(運営委員会については右ページを参照)。

◆助成金の給付

令和6年4月中旬に指定された口座へ銀行振込により給付します。

◆助成金の使途

助成金の使途については申請書をご覧ください。なお、人件費、旅費の合計額が助成金額の2分の1を超えないものとします。

※委任経理とする場合

助成金による間接経費の支払いはできません。

◆授与式

令和6年3月に授与式を行います。また、その際に助成対象となる研究の概要について発表していただきます。



運営委員会委員長

本村 忠正

(電気通信大学
名誉教授)

公益信託 小澤・吉川記念エレクトロニクス研究助成基金(委託者「CQ出版株式会社」)は、1994年5月13日に設立され、今日まで我が国のエレクトロニクス、情報処理分野等の学術研究の発展を担う大学・研究機関に所属する多くの若手研究者の独創的かつ萌芽的研究を助成し、広く社会の学術分野の発展に寄与してきました。近年の助成課題は、量子、光、ナノ、情報といったエレクトロニクス、情報処理関連分野の基礎科学、それらの技術的展開、さらに、既存分野の概念に囚われない他分野との融合、総合的、横断的科学技术の助成へと展開し、新たなイノベーション、我々が直面する種々の課題解決に貢献しています。本研究助成基金は、若手研究者の新たな視点を加えた研究の助成を通して若手研究者の育成とともに、新規学術分野の創出、社会への貢献を目的としています。以上の趣旨をご理解の上、本基金に応募していただくことをお願いいたします。

エレクトロニクス新時代を担う 技術の萌芽を育む

◆成果の報告

助成対象期間(令和6年4月から1年間)終了後、3カ月以内に研究概要報告および助成金使途報告を提出していただきます。また、この助成による研究に基づき論文を書く場合は、その論文中に当助成基金による研究であることを記載していただきます。

運営委員会について

本基金に学識経験者で構成される運営委員会を設置し、助成金給付対象先の選考並びに給付額の決定を行います。

運営委員名簿

委員長 木村 忠正 電気通信大学 名誉教授
委員 雨宮 好仁 北海道大学 名誉教授
委員 大塚 康二 元サンケン電気株式会社 研究所長
委員 関川 敏弘 元産業技術総合研究所 客員研究員
委員 波多野 睦子 東京工業大学 教授

(五十音順)

事務局

〒164-0001 東京都中野区中野3-36-16
三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 公益信託課
「公益信託 小澤・吉川記念エレクトロニクス
研究助成基金」事務局
TEL: 0120-622372
(フリーダイヤル)
(受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)
FAX: 03-5328-0586

■公益信託について

公益信託とは、委託者が財産を一定の公益目的のために信託し、受託者がその財産を管理・運用して公益目的を実現するよう任務を遂行するものです。

当公益信託の場合は下記のとおりです。

委託者: CQ出版株式会社

設立日: 平成6年5月13日

委託財産: 2億円(当初信託財産)

主務官庁: 文部科学省

信託管理人: 竹繁昌雄(税理士)

受託者: 三菱UFJ信託銀行株式会社

■CQ出版株式会社の概要

設立: 昭和29年5月13日

資本金: 4,986万円

事業内容: 無線・エレクトロニクス、コンピュータ
関係の雑誌、書籍出版販売

代表取締役: 小澤 拓治

受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

公益信託 小澤・吉川記念エレクトロニクス研究助成基金 申請書

この申請書類および添付した資料に記載されている事項は、助成金の支給対象者の選考等、当公益信託の運営に必要な範囲で、当公益信託の運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

年 月 日

申請者および研究テーマ [「申請者および研究テーマ」欄は、フォント種類をMS明朝かMSゴシックに指定し、フォントサイズを8～14ポイントで入力してください。]

申請者	氏名	フリガナ	(印)	生年月日 (西暦)	学 位
	自宅住所			年 月 日	()
大学 または 所属研究機関	名称		部局・役職		
	所在地	〒			
	電話・FAX	(TEL)		(FAX)	
	E-mail	(E-mail)			
学部長 または 所属機関長の確認	職 名		氏 名	(印)	
対象となる 研究テーマ	(*研究内容を分かりやすく的確な言葉で表現すること)				

対象となる研究の概要

概要をわかりやすくするための説明図(2図以内)を使い平易に記述してください。
説明図は、A4用紙に描いて添付してください。

(※特に他の研究との相違点、独自性について説明すること)

<研究の背景>

受託者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、申請者の個人情報を、公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

<研究の目的>

<研究の独自性>

申請者略歴

受託者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、申請者の個人情報を、公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

受付年月日	受付番号

研究業績

この申請課題の内容に限ることなく、最近3ヶ年間に発表した学術論文、著書等を発表年次の順に記入してください。対象となる研究テーマに直接関係する論文に▲印をつけて、どれか1部を申請書に添付してください。

学協会誌名	巻号	発表年(西暦)	発表論文名・著書名
今までに交付された助成金等の種類			

助成申請額 (合計)	万円
助成金の使途内訳	
人件費 (謝金)	
(小計 万円)	
旅 費	
(小計 万円)	
機械・器具・備品費	
(小計 万円)	
→購入機器の具体名 (上記のうち50万円以上のもの)	
研究委託費	
(小計 万円)	
その他	
(小計 万円)	
(合計 万円)	

◆研究助成金費目一覧

- | | |
|---|---|
| <p>1. 人件費</p> <p>(1) 研究協力者謝金…研究の協力者からの助言、協力に対する謝金</p> <p>(2) 研究補助者謝金…研究活動に必要な資料整理、実態調査等の研究補助作業者に対する謝金</p> <p>2. 旅費</p> <p>(1) 国内旅費…研究のための片道100kmを超える出張 (調査、会議出席等) に伴う交通費、宿泊費、雑費 (通信費、運搬費等)</p> <p>(2) 海外旅費…研究のための出張 (調査、会議出席等) に伴う交通費 (渡航費、現地交通費)、宿泊費、食事代、雑費 (通信費、運搬費、保険料等)</p> <p>3. 機械・器具・備品費…研究のための機械、器具、備品費</p> | <p>4. 研究委託費…コンピュータ・プログラム開発、機械設計、質問紙調査等の一部または全部を外部に委託する際の経費</p> <p>5. 賃借料…研究のための設備、機械、備品等の借料、コンピュータの借料、プログラムの借料</p> <p>6. 会議費…会議の際の会場費、茶菓子、弁当代</p> <p>7. 資料費…研究のための図書、文献、マイクロフィルム、写真等の資料費</p> <p>8. 印刷費…研究のための調査票、調査マニュアル、集計表の印刷費、および研究のための書類の複写費</p> <p>9. その他の諸経費…研究のための交通費 (ここでいう交通費とは片道100km未満の日常的な移動のための経費をさす)、通信費、一般事務用文具等</p> |
|---|---|